

緑が丘まち協



令和6年3月発行 発行者：緑が丘まち協広報誌編集委員会 〈緑が丘まちづくり推進協議会事務局：旭川市神楽支所〉

緑が丘まちづくり推進協議会は

様々な団体が、地域課題や解決策について意見交換を行っています。



※市民委員会

旭川市では、各地区の町内会が複数集まって「地区市民委員会」が組織されており、市内には現在62の地区市民委員会があります。緑が丘・西御料地・緑が丘東・神楽岡東・旭神の5地区が「緑が丘まち協」の対象地区です。

令和5年度委員紹介

会長	石塚英俱 (緑が丘地区市民委員会)
副会長	石井秀幸 (神楽岡東地区市民委員会)
委員	今井敦 (神楽・西神楽地域包括支援センター)
	大瀧政尚 (旭神市民委員会)
	大西昭和 (緑が丘東地区市民委員会)
	風間美緒 (公募委員)
	貞弘真悟 (緑が丘地区小・中学校長会)
	佐藤茂 (旭神地区社会福祉協議会)
	佐藤瑠奈 (公募委員)
	武田英夫 (公募委員)
	田中浩 (西御料地地区社会福祉協議会)
	辻内進 (西御料地地区市民委員会)
	藤田嘉之 (旭川市消防団)
	榎田由美子 (緑が丘地区民生委員児童委員協議会)
森浩美 (旭川医科大学)	



ごあいさつ

緑が丘まちづくり推進協議会
会長 石塚英俱

緑が丘まちづくり推進協議会は、緑が丘地域にある5地区市民委員会や地域団体、各種機関等と行政が相互に連携し、地域の課題を解決するための意見交換を行っている組織です。

令和5年度に計画しておりました事業を無事終えることができ、皆様のご協力に感謝申し上げます。

しかし、ようやくコロナが収まってきた矢先に能登半島で起きた地震には本当に心が痛みます。この災害で、改めて地域の繋がりの大切さを痛感するとともに、共助の必要性や大切さを認識させられました。また、命を守る行動をどのようにとればよいのかも考えさせられました。一日も早く復旧されることを願うばかりです。

緑が丘まちづくり推進協議会は、これからも誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりを目指して努力してまいりますので、ご支援、ご協力よろしくお願いたします。



議事録は市のホームページに掲載しています。



<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/408/machikyou/d063395.html>

今年度実施した
まち協事業を
紹介します

5地区ふれあい交流事業

今年度からの新規事業

誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりを目指す、緑が丘地域の5つの市民委員会
同士の更なる交流を目的に、スポーツ・文化等の対抗戦的要素も取り入れた各種
イベントを実施しました！

ペタンク大会

日時 令和**5**年**9**月**16**日(土)
午前9時～午後2時

会場 西御料地小学校グラウンド

晴天に恵まれた中、緑が丘5地区のシニア世代
45名が、フランス発祥の球技であるペタンクに
挑戦しました。
地区対抗戦を行い、勝数による順位を決定。



フロアカーリング

日時 令和**5**年**11**月**5**日(日)
午前9時～午後0時30分

会場 緑新小学校体育館

総勢92名の地域住民が結集し、チーム総当たり
戦による熱戦が繰り広げられました。
地区対抗戦を行い、総合ポイントによる順位を決定。



紙ヒコーキ大会

日時 令和**6**年**1**月**14**日(日)
午後1時～午後4時

会場 緑新小学校体育館

緑が丘5地区の多世代（男女年齢制限無し）選抜
メンバー51名により、折り紙ヒコーキを飛ばし
て距離を競う地区対抗戦を行い、合計距離による
順位を決定。



健康麻雀

日時 令和**6**年**2**月**18**日(日)
午後0時～午後5時

会場 緑が丘住民センター

最終競技は頭脳戦！
各地区から選りすぐりの48名が、1ラウンド70
分の時間制で全3ラウンドを戦い、地区総得点に
よる順位を決定。



地域について、もっと知りたい!

～神楽岡東地区市民委員会の紹介～

1968年(昭和43年)、旧神楽町と旭川市が合併し、神楽岡は1区から8区に区割りされました。この区割りこそが、神楽岡住民の町内会名の冠になっている、その名残です。

本来は、この神楽岡地域全体で市民委員会を組織するところ、1970年(昭和45年)から神楽岡団地(現緑が丘ニュータウン)の造成事業が始まったことにより、一帯は急速な変化を遂げ、行政指導のもと、緑が丘・神楽岡地区(高台)市民委員会が誕生しました。

しかしながら、新住宅市街地開発法の適用を受けた緑が丘と、下水側溝も未整備な神楽岡では地域住民の街づくり・要望等には乖離が多く、1983年(昭和58年)神楽岡高台地区の6つの町内会は、著しく遅れをとっている環境整備を促進するため、5月15日に分離して「神楽岡東地区市民委員会」を結成しました。

同時期に東陽老人クラブ発足、緑新小学校も開校し、周りに数多くの新築住宅が建設されたことから、新たに4町内会が生まれ加入、下水側溝はほぼ3年で完成しました。プラタナス通りには、ふじスーパーを始めとする商店や病院も次々に生まれ、地域は一層の発展をみる中、時が平成に入って神楽岡東地区市民委員会は「10町内対抗ふれあい大運動会」を企画。各々の町内会が町内旗や幟を作って交流し、市内で最も開発の遅れていた神楽岡東地区は、街としての機能と活気に満ちあふれていきました。

ひとえに、先輩・先人たちの並々ならぬご苦勞と献身的な活動があったからこそ今があると、心から感謝し、深く敬意を表します。

こういった先人たちの活動の拠点となったのが「神楽岡八区町内会館」です。神楽岡10町内会の集会やコミュニティづくり、文化活動、いこいの家機能、そして市民委員会活動に無くてはならない場所として、改築や修繕を重ねながら今も地域住民の交流拠点として活躍しています。

少子高齢化という言葉は20年も前から言われていましたが、商店の数も昨今は目に付くように減ってきています。地元のお店の大切さを町内会員と共有し、自助・共助そして行政と手を組んだ公助活動に、今後も情熱と優しさを持って、神楽岡東地区市民委員会は取り組んでいきたいと考えております。

2023年度は新型コロナウイルス5類移行後、 これまで休止していた地域イベントを開催しました!



2023年度敬老祝賀会



第29回神楽岡プラタナスフェスティバル

記事担当：神楽岡東地区市民委員会会長 石井 秀幸
(緑が丘まちづくり推進協議会副会長)

地域について、もっと知りたい!

～西御料地地区市民委員会の紹介～

西御料地地区市民委員会は、現在の緑が丘駅（かつては西神楽2線5号）から富良野方面の西神楽2線7号までの、国道237号線とJR富良野線の両側に広がる地域をその範囲としており、16の町内会と1,527世帯で構成されています（令和5年4月現在）。明治時代に皇室の御料地に制定された歴史を持っていることから、現在でも地名が引き継がれています。



西御料地の高台にある各町内会は、上川農業の一翼を支えてきました。次第に宅地化が進んでいますが、北海道の特徴的な景観である水田と畑が広がる豊かな農業地域です。



多くの町内会は近郊住宅街を形成しています。富良野国道やJR富良野線が通り、それを跨いで環状線が通る比較的交通の便が良い地区です。

4年前の新型コロナウイルス感染症の拡大は、私達の日々の生活に長期間に渡り深い影を落としました。市民委員会の活動は長期間模索の状態が続き、十分なことができませんでした。マスク着用の規制が緩和され、コロナが5類に移行した令和5年に、4年振りの「ふれあい夏祭り」を開催することができました。

空白期間のブランクに不安を抱え、コロナへの慎重な対応も求められる中で、実行委員の皆さんにご理解・ご協力をいただき準備を進めました。当日は、各町内会役員や会員の多くの方々に協力員として運営にご支援をいただき、近隣の多くの皆様が会場に足を運んでくださったことは、私達には大きな力となりました。次年度以降に向けて新しい第一歩が見えたように思います。



暑い一日となった7月29日（土）、西御料地小学校のグラウンドが「ふれあい夏祭り」の会場です。子どもも大人も多くの方が足を運んでくださり、久しぶりの賑わいが訪れました。



各町内会役員の応援を得て、ピンゴゲームやヨーヨー釣り・綿菓子・ポップコーンなどの出店ブースはいずれも盛況で、「憩いの場・語らいの場・ふれあいの場」ができました。



「西御料地会館」は、市民委員会と西御料地高齢者いこいの家運営委員会が連携して管理・運営に当たっており、市民委員会はもとより地域の皆さんの活動の基盤となる施設です。市民委員会や所属の各町内会が会議や事業等で使用したり、地域の諸団体等に積極的に利用されています。



西御料地高齢者いこいの家運営委員会では、会員の皆様方が定期的に活動しています。写真は卓球クラブ（日・木の週2回）とマージャンクラブ（月）の様子です。



地区社会福祉協議会の支援を得て、毎月1回の「子育てサロン」が開かれています。



小学校の少年団活動でも、集会やレクリエーションなどで積極的に利用しています。

記事担当：西御料地地区市民委員会会長 辻内 進
（緑が丘まちづくり推進協議会委員）

『親子で“防災”を学ぼう!』

日時 令和5年9月10日(日)
午前9時～午後0時

会場 緑が丘地域活動センター
グリーンパル

地域全体の防災への意識づけに取り組んでいくことを目的に、親子向けの防災教室を開催しました。

当日は、防災ミニ講話のほか、防災にまつわる様々な体験メニュー（段ボールベッド・簡易トイレの組立体験ほか）に取り組みました。



防災ミニ講話
「災害時の行動について」



避難所での生活スペースを知ろう



段ボールベッド組立体験



非常食試食



消防車見学



心臓マッサージ体験



水消火器体験



ポンプ車放水体験

『健康長寿とロコモティブシンドローム』

日時 令和5年10月14日(土)
午前10時～午後0時

会場 旭神みどり野会館

ロコモティブシンドロームとは：

骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えることで、要介護になる危険性の高い状態

講義 「ロコモティブシンドロームについて～健康維持に必要な知識～」

講師 旭川医科大学病院リハビリテーション部 理学療法士 高山 拓也 氏

ロコモティブシンドロームの基礎知識や、健康維持に必要な栄養や運動の知識について、具体例を挙げながら分かりやすくお話いただきました。



ロコモ度テスト

旭川医科大学の学生さん達のサポートのもと、3つのテストを行い参加者のロコモ度をチェックしました。

(立ち上がりテスト)

(2ステップテスト)

(ロコモ25)



健康チェック

保健師による健康相談及び血圧測定、棒反応・握力・体組成測定を行いました。

予防運動「ロコトレ」

自宅でも実施できる簡単なトレーニング方法について、参加者全員で実践しました。



緑が丘地域における教育機関の取組

～緑が丘中学校の教育活動～

寄稿：旭川市立緑が丘中学校

毎年、緑が丘中学校を会場に、地域の小学校、高校と連携し「丘の上ふれあい音楽祭」を開催しております。この行事は、小中高はもちろん、地域の幼稚園、合唱団、太鼓など様々なジャンルの団体が参加しています。緑が丘中学校では、合唱団が美しい歌声を響かせ、吹奏楽部が観客を魅了する演奏を行っていました。太鼓は迫力ある演奏、幼稚園の踊りは大変かわいらしく見ている方たちを和ませています。出演者のご家族を始め、市民委員会やたくさんの地域の方に参観いただきました。この会を運営するに当たり、小中高のPTA役員のお力添えをいただき準備しております。緑が丘中学校の伝統行事となっております。



学習面においては、北海道の中学校では2校しかない文部科学省指定の「リーディングDXスクール事業」指定校となっております。生徒の情報活用能力の育成を図り、先進的にICT化を進めていくという目標を掲げ、授業改善と校務の両面でのDXを研究しています。授業においては、ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」



を一体として充実させる授業改善を行っています。すべての教科でタブレットを効果的に活用した授業が展開され、北海道教育委員会教育長を筆頭に様々な方が授業を視察され、高く評価していただきました。さらに、先進的な授業の在り方を学習するために、リーディングDX戦略アドバイザーを招いての講演や公開授業も行いました。校務においても、欠席連絡にGoogleフォームを活用したり、職員会議のペーパーレス化を図ったりするなど、ICT化を進めています。

健康セミナー

げんき種2023in緑が丘

日時：令和5年7月11日(火) 午後1時30分～午後4時
会場：緑が丘地域活動センター グリンパル

～げんき種の開催に当たりましては、多くの地域住民の皆様にご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。～

げんき種とは？ ～旭川医科大学看護学科3年生が「地域包括ケア論Ⅲ」「地域包括ケア実習」の授業の一環として企画・運営を行うワークショップのことです。地域住民の健康課題解決のための対策・改善案などを、看護学生の立場から地域住民と協働して実行することを目的として、今年は体組成、握力・血圧測定といったご自身の体の状態を知っていただく簡単な測定や、自宅でも簡単に取り組んでいただくことのできる筋力アップ体操を行いました。また、「げんき種インタビュー」を行い、地域の皆さんの困りごとや元気のみなもとなどを伺いました。



みなさんの元気のみなもとから大きな木が完成しました！！

学生が作成した体操の一部です！



②わき腹を伸ばす運動



意識ポイント：**呼吸を止めないように**
わき腹を左右交互に伸ばすことで、胃や腸が刺激され、便秘予防につながります！

「げんき種」記事担当：
旭川医科大学医学部看護学科3年 風間美緒・佐藤瑠奈
(緑が丘まちづくり推進協議会公募委員)